

第6章
まちづくり
アイデア提案事業

1 アイデア提案事業とは

藤沢市新総合計画は、「ふじさわ未来課題」をより良い状態にするための改善の活動に取り組むことで、将来像の実現に向けて前進していくことを基本としています。

アイデア提案事業も、他のまちづくり実施事業と同様に、「戦略目標」「政策」に結びつき、「ふじさわ未来課題」を改善することを前提としています。

ただし、アイデア提案事業は、担い手間の調整や活動のための資源が不足していたり、更なるアイデアの発展を求めていたりして、できることとめざす目標の間にまだ隔りがあるという状況です。

活動は、まずそれぞれができることに取り組むことから始まります。そして、互いに手を携えたり、お互いの強みを足しあったり、また弱みを補いあったりしながら、より大きな活動になり、更に多くの人々の協力が得られるようになります。

また、それらの活動によって、新しいコミュニティの形成や仲間づくりが進むことを願っています。

アイデア提案事業は、そうした活動のアイデア、ヒントを「これからの総合計画事業候補」としてこの実施計画に掲載し、多くの皆さんに見ていただきながら、参加や協働、連携を求めていくものです。

2 アイデア提案事業の進め方

アイデア提案事業は、地域経営戦略100人委員会の委員の皆さんをはじめ、市民の方から寄せられた活動のアイデア、ヒント、プレゼンテーションです。

紙面の都合により、ご提案いただいた内容の一部のご紹介となりますが、「協働して事業を実施したい」「連携して活動したい」「一度話しを聞いてみたい」ときは、是非提案者又は市にご連絡ください。

表の見方（例）

事業名	食によるシティプロモーション「藤沢炒麺」サポーター事業		① ② ③ ④ ⑤
分野	めざす方向性	(7)「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生	
まちづくり	未来課題	62. 産業の活力を高め、地域が元気になること	
事業内容	<p>「藤沢炒麺」は、藤沢産の小麦で打った麺と地場産の具を中心とした地産地消の炒めそば、藤沢スローフードです。地域でのお祭りやイベントでの出店を続けており、少しずつ知っていただけるようになったと感じています。</p> <p>更に多くの市民の皆さんや藤沢に遊びに、仕事に、また通りすがりの皆さんに藤沢の良さを知っていただく一品として提供いただける店舗様や普及にご協力いただける市民の皆様をサポーターとして募集しています。</p> <p>(ご連絡はeメールでお願いします)meet@chiikimiryoku.jp</p>		
役割期待	<p>協賛いただける店舗様におかれましては、藤沢炒麺メニューの販売をお願いいたします。当方としても店舗の宣伝等のサポートをさせていただきます(一部有償でお願いいたします)。また、市民の皆様には、藤沢炒麺の宣伝、レシピの開発等をお願いしたいと考えております。</p>		
事業の成果	<p>「ひとりでも多くの方が、藤沢を食し、藤沢を感じ、藤沢を愛する」ことを目標にしています。観光や産業も目標ではありますが、地域や藤沢に興味をもっていただけることを目指しています。</p>		
実施主体	NPO法人地域魅力	(連絡先) 事業内容に記載	

- ① 事業名と総合計画上の区分（藤沢づくりのめざす方向性・ふじさわ未来課題）を示します。
- ② 事業の内容について示します。
- ③ 協働いただきたい皆さんに期待する役割の内容を示します。
- ④ 事業の成果として期待される内容を示します。
- ⑤ 実施主体と連絡先を示します。

事業名		地域活動活性化事業(湘南台地区)	
分野	めざす方向性	(1) 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち	
まちづくり	未来課題	5. 地域で協働して、暮らしやすいまちづくり活動が行われていること	
事業内容		地域住民の地域活動への意識の高揚と協調の精神、そして、何にも増して、団結しての実行力が重要です。既存の公共の場(公民館、集会所など)の更なる有効利用とコミュニティルームの設置や増設を行います。	
役割期待		日頃の活動が順調にいくためには、まず経営会議のメンバーが中心になって企業、学校、諸団体などから実動部隊を編成します。それらの方々が活動しやすくするために情報交換の場、作業の場としてのコミュニティルームを増設します。	
事業の成果		人材の確保と育成、そして、地元自治連6団体等の組織の再構築を行った結果、地域住民自ら、暮らしの中から湧き出たイベントを発信したいです。	
実施主体		(連絡先)	

事業名		地域対応公共施設のオープン化事業	
分野	めざす方向性	(1) 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち	
まちづくり	未来課題	7. お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること	
事業内容		地域対応公共施設のオープン化、管理統合化による利便性向上(利用ルールの見直しを含む)を行います。 1.施設を「管理」「効率化」の行政視点から、「利便性」「有効利用」の市民視点へ変換します。 2.「指定管理者」へも「防災・管理」に加え、全ての公共施設は市民の利便性向上を位置づけます。	
役割期待		行政が管理及び有効活用、市民の利便性の面から規制緩和をします。公民館、市民の家、自治会会館は各地区内市内でも共有化します。管理は、指定管理者に限らず、地区内のボランティアを活用します。	
事業の成果		オープンにするため、ボランティアなどが協力して真の地域施設として、「集い・交流」が活発になります。	
実施主体		(連絡先)	

事業名		町内(自治)会館、補助金制度の見直し事業	
分野	めざす方向性	(1) 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち	
まちづくり	未来課題	7. お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること	
事業内容		現在自治会約500、会館保有約半数250、MAX1200万円の補助があります。 1.今後も現在の制度が継続出来ますか、又はもっと財政的に優先すべき補助があるのではと考えます。 2.マネジメント白書では取り上げていないが、現在各自治会館の利用率は又はその自治会の利用では、資金(補助金)の有効活用面で見直しが必要なのでは、と考えます。	
役割期待		行政、自治会、町内会(制度の見直し、箱モノは既存のものを有効活用など。)	
事業の成果		最低限の補助に絞り、既存の公共施設と運用、利用をして、補助金が50%以下になることを目指します。	
実施主体		(連絡先)	

事業名		ボランティアセンター設置事業(遠藤地区)	
分野	めざす方向性	(1) 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち	
まちづくり	未来課題	7. お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること	
事業内容	幼児の見守り、高齢者の話し相手、日常生活の手助けを行います。遠藤地区には、現在拠点となる事務所がなく、活動ができない、各福祉団体がバラバラで活動している、また、他団体の状況がわからないなど問題があり、そのため、隙間だらけの活動になっていると思われます。		
	役割期待	各団体の協力を依頼し、支援者を多くします。(社協、民児協、自治会、老人会など)シェークハンズ遠藤が主体になります。	
事業の成果	拠点がいつも高齢者に利用していただいているようにしたいです。		
実施主体	(連絡先)		

事業名		「新しい公共」へ新しいパブリック・サーバント像事業	
分野	めざす方向性	(1) 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち	
まちづくり	未来課題	7. お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること	
事業内容	1.「目標、背景、方向性」にあるとおり、「変化に対応」「新しいつながり・助け合い」には、新たな視点や手法の転換や発想が必要なのは言うまでもありません。 2.市長は既に変化に対応しつつあるが、行政には「規則、縦割、立場」が残っており、これが改革を阻止して壁となっています。		
	役割期待	行政内の規則、規制の棚卸を行い、改善します。市民からの改善要望を収集し、改善します。	
事業の成果	市民力と行政力が更に増して、総合計画の推進が大きく進展します。市民からの行政の信頼度が大きく向上、職員の活性化が進みます。		
実施主体	(連絡先)		

事業名		自転車協議会の設立事業	
分野	めざす方向性	(1) 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち	
まちづくり	未来課題	7. お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること	
事業内容	自転車利用全般について、方向性の整備とロードマップを作成し、安全安心な自転車利用計画の策定をします。		
	役割期待	県、市、警察、教育機関、自転車業組合などそれぞれの期間が共同します。	
事業の成果			
実施主体	(連絡先)		

事業名	子どもたちへの環境教育の推進事業(湘南台地区)	
分野	めざす方向性	(2) 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境
子育て・教育	未来課題	16. 子どもたちが身近な生活の中で自然を感じていただけること
事業内容	藤沢北部遊水地[今田・下土棚]の有効活用を行います。遊水地公団の事業は県の直轄事業であるが地元としてその運用面で積極的に協力・参加したいです。住民だけでなく、他地区の皆さんも参加できる広域の広場として公団の利用が考えられます。子どもも老人クラブの皆さんも大いに利用したいです。自然環境の学習の場としても活用したいです。	
	役割期待	プランの中、いくつかのテーマが考えられます。経営会議のメンバーを中心に地域住民がどのように利用でき、且つ、学主できるかプランをつくります。そして、それぞれに伴う人材の確保を行います。
事業の成果	遊水地は完了していないが、区部の計画についてはより具体的に検討がなされています。	
実施主体	(連絡先)	

事業名	学校教育への支援活動事業	
分野	めざす方向性	(2) 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境
子育て・教育	未来課題	14. 学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること
事業内容	学校、PTA、家庭、地域が連携を密にして、子どもたちの学習意欲を高めるために、どんなテーマをどのように展開するか、カリキュラムをつくります。	
	役割期待	地域住民の中から、教材に適した人材の確保が先決になります。
事業の成果	小学校や中学校などで、各々学習展開、評価が行われます。	
実施主体	(連絡先)	

事業名	青少年への公民館開放と居場所作り事業	
分野	めざす方向性	(2) 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境
子育て・教育	未来課題	14. 学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること
事業内容	全市の公民館を青少年に開放し(利用方法の改善)、飲食も出来る場であり、安心して立ち寄れる居場所を作ります。青少年支援(青少年サポーター)を配置し、社会参加を育成します。支援者の養成事業を行います。	
	役割期待	片瀬公民館、片瀬地区青少年育成協力が準備検討会議をしています。片瀬はモデル地区として、全市に広めたいです。
事業の成果	公民館が一層異世代間のコミュニケーションの場として、利用者が増加し、青少年の社会参加のための活動拠点になります。	
実施主体	片瀬地区青少年育成協会など	(連絡先)

事業名	青少年会館と子どもたちの遊び場事業—プレイパークの設置—	
分野	めざす方向性	(2) 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境
子育て・教育	未来課題	14. 学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること
事業内容	市の拠点となる青少年会館を設置し、その回りに子どもたちの遊び場であるプレイパークを一緒に作ります。人間の成長段階において、遊びながら体験し、智恵をつけて仲間を作り、社会性を身につけていきます。その体験をしないまま大人になり、自立した大人になれない若者が増えてきています。ボール遊びが出来て、火を使うことや木登りが出来て、楽しく外遊びができる青少年の居場所を藤沢の中心部に作りたいと思います。	
役割期待	建築(設計)、運営、管理を市民の代表者と話し合います。完成後、子ども会や青少年団体、ボランティアの人々に運営委員会を作ります。	
事業の成果	青少年が社会参加し、自立していく環境作りに寄与します。	
実施主体	藤沢市子ども (連絡先)	

事業名	全市で「おはようあいさつ運動」事業	
分野	めざす方向性	(2) 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境
子育て・教育	未来課題	14. 学校・家庭・地域のつながりを育む活動が活発であること
事業内容	<p>「全市」で「おはようあいさつ運動」を展開して、明るい元気な街をつくります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 従来行われている地域毎の活動では、継続性がなく、徹底していません。 2. 基本は挨拶からコミュニケーション、交流が生まれます。 3. 個人と家庭とを重点に、親子・地域・学校・全市で展開します。 4. 大人(親)が率先して、子どもが元気に応えます。大人同士も自分から率先します。 	
役割期待	家庭内、地域内、学校にて、「おはようあいさつ運動」を展開します。	
事業の成果	全市全域で「あいさつ運動」の進展が図られ、街や子どもが明るくなります。家庭内でも、親子間のコミュニケーションが活発になります。あいさつを基点に「藤沢市民憲章」が展開します。	
実施主体	(連絡先)	

事業名	学習ボランティアによる児童活性化支援事業	
分野	めざす方向性	(2) 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境
子育て・教育	未来課題	
事業内容	塾や家庭教師の代わりにやるのではなく、話をじっくりすることでその子どもが学習のどの段階でどのようにして行き詰まるのを見極めて、そこを乗り越える手伝いをする中で少しずつ自力で前進する子どもにも成長させることが大切であると考えます。	
役割期待	藤沢市民は各方面で、一流の人材が豊富だと思います。この様な人材を発掘する方法を学校や児童、保護者などが安心できるための仕組みを作りたいです。	
事業の成果	この活動を広く市民が知り、協力者が出てきます。学習ボランティアの活動によるノウハウは個人的ではなく、共有する地域が増えていきます。	
実施主体	(連絡先)	

事業名		校庭芝生化推進事業	
分野	めざす方向性	(2) 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境	
子育て・教育	未来課題		
事業内容	校庭を緑に保つ技術的・経済的な手法はかなり全国各地で実践例があるので事業を立ち上げることに大きな心配はないが、維持管理作業を楽しんで継続してくれる組織をつくれるかがポイントになります。		
役割期待	学校、家庭(PTAや老人会など)、地域の連携が必要になります。全市を視野に入れて動くNPOを作って、経済面等の作戦を練ります。		
事業の成果	子どもの体力、知力、情操面での変化が顕著になります。		
実施主体	(連絡先)		
事業名		サマースクール(子どもの学力と生きる力を地域で支える)事業	
分野	めざす方向性	(2) 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境	
子育て・教育	未来課題		
事業内容	寄せられた「気づき」の中に、共稼ぎや一人親家庭の増加、収入格差が教育格差に直結している現状を考えると、保護者や学校だけでなく地域の大人が子どもの教育、生活などに、積極的にかかわり、力をあわせて、子どもたちを支える必要があるという声が多くありました。そこで、「夏休み中に3週間のサマースクールを地区センターを利用して開設し、子どもたちの学力を向上させるとともに、生きる力や、自信をつけさせる」という案が出ています。◆子どもの学力にそった学習支援 ◆お弁当作り、など		
役割期待	地域の人の力を結集します。(行政、学校ボランティア、学生、100人委員会の有志、地元の企業、地区センター、子ども会、NPOなど)		
事業の成果	大学、地域の商店、企業、行政、NPOなど様々な人材を集め、子どもの教育と生活を支えられればよいと思います。		
実施主体	(連絡先)		
事業名		防災力強化事業	
分野	めざす方向性	(3) 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち	
まちづくり	未来課題	18. 災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること	
事業内容	市全体としては訓練などにより、体制的にも強化されてきたと思うが、地域毎、自治会単位ではばらつきがあり、特に自治会・家庭など末端に行くほど、格差があります。自治会、家庭などの防災レベルを向上することが課題と認識しています。行政、NPO(専門家)による「防災チェックリスト」「評価基準・レベル」を検討、作成します。同様に、家庭、自治会による自己判断診断、評価を決めます。レベル別に改善計画の作成を行います。		
役割期待	行政、NPO、家庭、自治会などで検討します。		
事業の成果	モデル地区で実施し、有効性を確認します。防災意識がレベルアップし、防災力が強化されます。		
実施主体	(連絡先)		

事業名	地域全体の清掃デーの増設定事業	
分野	めざす方向性	(4) 共に生き、共に創る地域社会の創出
環境	未来課題	24. 挨拶や声かけによる市民同士のコミュニケーションがとれていること
事業内容	自然環境を守ること、市民同士のコミュニケーションを深めることの両方を解決するための集まりを主体にします。自治会によって、清掃範囲の違いなどから、全体に行きあたらぬ所がでてくるので区割りなどを考えて行います。なるべく全員が集まるのが大切です。	
役割期待	自治会、老人会、子ども会、社会福祉協議会、小中PTA、社会環境協議会、その他各種団体が担い手となります。	
事業の成果	市民同士のコミュニケーションがとれること、きれいな街を実現します。	
実施主体	(連絡先)	

事業名	緑地の保全活動事業	
分野	めざす方向性	(5) 豊かな地域資源の次世代への継承・発展
環境	未来課題	37. 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること
事業内容	市有・私有緑地の保全作業を行います。市有の緑地20ヶ所の保全を行います。地権者からの緑地保全作業依頼の申請を待ちます。私有緑地に関して、保全活動の取り組み体制確立と地権者へのアプローチを実施します。	
役割期待	①13の市民センター、公民館②地権者③NPO法人FGS(藤沢グリーンスタッフの会)が、協定を結び、活動、打ち合わせを実施します。	
事業の成果	健康な緑地、生物多様化のできる緑地を実現します。	
実施主体	NPO法人藤沢グリーンスタッフの会 (連絡先)	

事業名	公園樹木の剪定、整備、清掃事業	
分野	めざす方向性	(5) 豊かな地域資源の次世代への継承・発展
環境	未来課題	37. 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること
事業内容	1.公園の清掃、除草 2.公園樹木の剪定、間伐を行います。公園愛護会による清掃、美化ネットによる草花の植栽、市発注の造園業者による剪定を行います。	
役割期待	公園愛護会、フジクラブ、美化ネット、藤沢グリーンスタッフの会(FGS)、町内会、企業、学校などが担い手となります。	
事業の成果	多くの公園が明るく、楽しめる公園になっていること、公園の花が良く咲くこと、公園樹木が健全で病虫害が少ないことがあげられます。	
実施主体	(連絡先)	

事業名	街路の清掃、樹木の剪定、整備	
分野	めざす方向性	(5) 豊かな地域資源の次世代への継承・発展
環境	未来課題	37. 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること
事業内容	町内会や企業、学校など市内すべての道路の1.街路の清掃、除草 2.街路樹木の剪定を行います。街路樹周りはゴミも多く、雑草やササ、実生の木が伸びて、通行の視界を妨げ、自転車や自動車の通行を支障しています。住民、企業などの中には自分の家の前等は自主的にやっている人も多いです。市が業者に手入れをさせているが剪定はともかく雑草の伸びは早く年1回程度では追いつきません。	
	役割期待	町内会や自治会、ボランティア、美化ネット、フラコム、沿道の企業(CSR)など、学校、くらしまち地域経営会議、造園業者の組合など、緑保全団体が担い手となります。まちづくりみどり推進課が企画、連絡、調整を行う。
事業の成果	きれいで通行しやすい道路になっています。	
実施主体	(連絡先)	

事業名	河川・海岸の定点観測による水質観測と回収ごみ量把握事業	
分野	めざす方向性	(5) 豊かな地域資源の次世代への継承・発展
環境	未来課題	37. 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること
事業内容	水質やごみ捨ての改善には地域住民や事業者の意識向上が必要です。(地域ごとの数値を知り、改善目標や競争意識を高めます。)	
	役割期待	定期的な定量把握と公表を行政が行います。地域間比較、改善の方向を地域経営会議で検討します。検討結果を各自治会、ボランティア団体に報告し、NPO、ボランティア、自治会は改善活動を行います。
事業の成果	河川、海岸のごみが減り、水質が向上することを目指します。	
実施主体	(連絡先)	

事業名	市全体と地域のアイデンティティに基づく景観と町づくり事業	
分野	めざす方向性	(5) 豊かな地域資源の次世代への継承・発展
まちづくり	未来課題	37. 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること
事業内容	里山・海岸などの自然、社寺や旧街道など歴史・文化遺産が都市化・商業主義によって失われつつあります。地域アイデンティティの基礎となるこれらの遺産を将来にどう継承し発展させるかを考えます。	
	役割期待	行政と都市工学などのプロによる藤沢市の現状把握とポテンシャルの検討を行います。地域のアイデンティティを住民と共有化します。条例や住民協定、税制などの整備を行います。
事業の成果	藤沢市の地域アイデンティティを再確認し、将来のあるべき姿が明確になります。	
実施主体	(連絡先)	

事業名	宅地緑化維持・保全の定着事業	
分野	めざす方向性	(5) 豊かな地域資源の次世代への継承・発展
環境	未来課題	37. 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること
事業内容	<p>・好環境とされる住宅地が相続等により細分化され、樹木が失われると共に小面積の住宅から狭い道路にはみ出した枝が交通の障害をもたらす事象が散見されます。</p> <p>・自動車の増加・大型化に伴い路地との交差点など見通しが悪くカーブが曲がりにくい箇所があります。宅地の極端な細分化と植栽の面積確保のための住民協定や条例化を環境行政と住民で検討、実現します。宅地の植栽保全について住民への指導、場合によっては強制執行を行います。</p>	
役割期待	行政、住民など役割を担います。	
事業の成果	道路を有効にかつ安全に利用する保全措置が取られます。	
実施主体	(連絡先)	

事業名	官民協働の協議会設立による環境保全事業	
分野	めざす方向性	(5) 豊かな地域資源の次世代への継承・発展
環境	未来課題	37. 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること
事業内容	バラバラなボランティア団体、市民、行政、学校などの活動を市が介在してまとめ、更なる力で藤沢の環境保全を進めます。	
役割期待	①河川②海と江の島③谷戸④景観の4分野での関係団体が市の介在で協議会を設置し、統一した環境保全活動を行います。	
事業の成果	環境保全活動を推進します。	
実施主体	(連絡先)	

事業名	かわせみ環境実施事業	
分野	めざす方向性	(5) 豊かな地域資源の次世代への継承・発展
環境	未来課題	37. 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること
事業内容	<p>藤沢の自然環境保全のための以下事業を実施します。</p> <p>①子どもが遊べる川の復活 ②ゴミを減らす運動の実施 ③緑道の実現 ④水質の向上 ⑤緑の保全 ⑥生物の共生 ⑦体験学習の実施 ⑧官民合同の協議会の設立</p> <p>⑨他の自治体との協働 ⑩市政の基本 ⑪自然環境に対する市民意識の向上</p>	
役割期待	行政をはじめ、市内各種団体や周辺自治体を巻き込んで実現します。	
事業の成果	固有の藤沢らしさを発見し、こんなところに住んでみたいと思うまちをつくります。	
実施主体	(連絡先)	

事業名	里山、田園、地域資源の顕彰と管理事業	
分野	めざす方向性	(5) 豊かな地域資源の次世代への継承・発展
環境	未来課題	37. 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること
事業内容	緑の自然環境、歴史遺産ほか藤沢市独自の快適生活を生み出す資源の再認識と継続的管理基準の見直しを行います。	
役割期待	既存の市当局の管理の成果と課題を、公・民で協議し、今後の目標対策を立案し、実行する委員会を発足します。	
事業の成果	快適生活を呼ぶ緑のあり方を合意し、協力作業で展開していきます。	
実施主体	(連絡先)	

事業名	建築基準の改訂により藤沢らしい美観と愛着を生む街づくり事業	
分野	めざす方向性	(5) 豊かな地域資源の次世代への継承・発展
まちづくり	未来課題	37. 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること
事業内容	1) 建築基準を改訂する必要性の説得を13地区毎に丹念に行います。(気づきではケバケバ看板・広告・過密化・騒音・ゴミなど) 2) 規制強化との誤認を排斥する努力を行います。 3) 美観・愛着が目標であり、建物・掲示標識・街路に備わる樹木のあり方他も含みます。	
役割期待	市民感覚を第一に美的活動の民間団体と商工会議所を含めた委員会、13地区センター主催の地区ごと評議会、100人委員会、領域担当のような委員会があげられます。	
事業の成果	公民業のベクトルが一致します。建築、街づくり条例が審議されます。	
実施主体	(連絡先)	

事業名	湘南海岸の海浜植物の再生・保全事業ー砂草の里親プロジェクト事業	
分野	めざす方向性	(5) 豊かな地域資源の次世代への継承・発展
まちづくり	未来課題	37. 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること
事業内容	藤沢市と藤沢市民財産である湘南海岸のみどりは、様々な要因で減少しています。海浜植物(砂草)の幼苗を、市民が自宅・学校・職場等で育苗してもらい、皆で育てた苗を海岸に植栽します。(ふるさとに戻します)。	
役割期待	藤沢のみどり課を含む関係諸課、市民、NPO法人ゆい、民間企業、大学など、あげられます。	
事業の成果	植栽する植物種を増やししながら、「砂草の里親」の制度化を検証し、次世代へ、湘南海岸のみどりの環境を復元し保全する道筋が描けます。	
実施主体	特定非営利法人 ゆい	(連絡先)

事業名	CO2を出さない自転車に規則を守って楽しく乗ろう事業	
分野	めざす方向性	(6) 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資
環境	未来課題	49. 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること
事業内容	子どもには学校で、大人には人が集まる機会に自転車安全教室を実施します。自転車は手軽で便利な乗り物で、環境的にも良いが一步間違ると加害者にも被害者にもなる可能性があるという意識を植え付けます。	
役割期待	教育現場従事者、警察、民間交通指導員、自治会・町内会、行政があげられます。	
事業の成果	子どもが親や祖父母に正しい自転車の乗り方やマナーを家庭で教えることができます。また、外で知らない人にも注意できます。自転車による事故が激減します。	
実施主体	(連絡先)	

事業名	公共交通機関の利用拡大による江ノ島への自家用車乗り入れ禁止事業	
分野	めざす方向性	(6) 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資
環境	未来課題	49. 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 江ノ島にアクセスする小田急・江の電・湘南モノレールの江ノ島内への延伸の可能性を検討します。(技術面・採算性など) 134号線周辺駐車場のキャパシティを確保します。(駐車場料金の引き下げ) 鎌倉市との政策協定を結びます。 電動バスの実用化を検討します。 	
役割期待	行政、交通事業者などが連携します。	
事業の成果	江の島の周辺道路の渋滞の解消や谷戸や周辺住宅地の環境悪化を改善します。	
実施主体	(連絡先)	

事業名	湘南海岸における風力発電の検討事業	
分野	めざす方向性	(6) 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資
環境	未来課題	
事業内容	<p>企業や個人の太陽光発電は広く普及しはじめているが、風力発電については未知です。藤沢市、茅ヶ崎市など海岸線の防風・防砂林地帯を利用した風力発電の可能性を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発電可能な風力の状況・設置スペースと設置数の資産 景観や騒音などの環境アセスメント・投資額と発電コストと発電量の経済性検討 	
役割期待	行政を中心に各専門分野の有識者が各地の風力発電の実態を調査します。	
事業の成果		
実施主体	(連絡先)	

事業名		省エネ指導員事業	
分野	めざす方向性	(6) 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資	
環境	未来課題	49. 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること	
事業内容	省エネ指導員を置いて各家庭小規模事業所の相談・指導を行います。各家庭や小規模事業所が前向きに指導員と接するかどうかのポイントで、家庭・指導員両方の目線が合うことが求められます。(云うことは簡単ですが、実行に困難を伴います。)		
役割期待	行政がリード役でシナリオを描いて、人材発掘、養成を行う必要があります。		
事業の成果	指導員同士の交流で、更に若い世代にも伝わり、市民の輪が広がっていきます。		
実施主体	(連絡先)		
事業名		木製容器の利用促進事業	
分野	めざす方向性	(6) 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資	
環境	未来課題	49. 人々の環境への意識が高く、快適なまちであること	
事業内容	プラスチック容器の大量利用による海洋汚染が進行し、環境ホルモンなど化学物質による生物へのダメージが拡大しています。これを阻止することを目的に、3～4年で成木となるファルカタを用いた弁当容器など食品容器の利用を拡大する事業を行います。同時に材料となるファルカタの植林事業をインドネシアにおいて積極的に実施し、森林を育て、地球環境を保全します。		
役割期待	木製容器の利用に関する企画立案を行い、藤沢市の種類の産業でその利用を促進します。		
事業の成果	化学物質による地球環境汚染の防止、プラスチックによる海洋汚染の防止につながります。国際分業による森林保全の取り組みをベースとした環境教育を展開します。		
実施主体	一般社団法人アジア環境保全教育機構 (連絡先)		

事業名 ふじさわコミュニティタウンカフェ事業		
分野	めざす方向性	(7)「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生
まちづくり	未来課題	63. 地域の人材が働ける機会を創造すること
事業内容	ふじさわコミュニティタウンカフェの設置運営を行います。 ・若者就業施設(就職困難者) ・市民カルチャー発信基地 ・多世代、多文化コミュニティカフェ	
	役割期待	藤沢市内のまちの活性化を目指す組織の連合体をつくります。(NPO、商店会、大家さん、藤沢市、企業、市民など)
事業の成果	新規雇用の創出、市民の巻き込みによるまちの活性化に寄与します。	
実施主体	藤沢市市民活動推進連絡会	(連絡先) 0466-27-4057

事業名 湘南工科大学を活用した職業訓練事業		
分野	めざす方向性	(7)「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生
まちづくり	未来課題	63. 地域の人材が働ける機会を創造すること
事業内容	官・学・民は将来日本の在り方を念頭に広い視野(全国的、グローバル)で検討した上で雇用政策の立案実行を図るべきです。しかし、国県の職業訓練の実施案は、過去の実績からも藤沢市民にとって必ずしも最適ではありません。そこで、1.失業率の高い若年層と定年前後の高年層を対象に、技術講座を開催します。2.講座施設として、教育環境の整った湘南工科大学を活用します。	
	役割期待	藤沢市、湘南工科大学、市民団体があげられます。
事業の成果	高齢者、若年層の失業率が低下します。技術集団による起業化が見込まれます。工科大学の活性化によって技術立国日本の強化に貢献します。	
実施主体	ふじさわ団塊塾塾長 伊勢哲郎	(連絡先) 0466-26-3467

事業名 食によるシティプロモーション「藤沢炒麵」サポーター事業		
分野	めざす方向性	(7)「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生
まちづくり	未来課題	62. 産業の活力を高め、地域が元気になること
事業内容	「藤沢炒麵」は、藤沢産の小麦で打った麺と地場産の具を中心にした地産地消の炒めそば、藤沢スローフードです。地域でのお祭りやイベントでの出店を続けており、少しずつ知っていただけるようになったと感じています。更に多くの市民の皆さんや藤沢に遊びに、仕事に、また通りすがりの皆さんに藤沢の良さを知っていただく一品として提供いただける店舗様や普及にご協力いただける市民の皆様をサポーターとして募集しています。	
	役割期待	協賛いただける店舗様におかれましては、藤沢炒麵メニューの販売をお願いいたします。当方としても店舗の宣伝等のサポートをさせていただきます(一部有償でお願いいたします)。また、市民の皆様には、藤沢炒麵の宣伝、レシピの開発等をお願いしたいと考えております。
事業の成果	「ひとりでも多くの方が、藤沢を食し、藤沢を感じ、藤沢を愛する」ことを目標にしています。観光や産業も目標ではありますが、地域や藤沢に興味をもっていただけることを目指しています。	
実施主体	NPO法人地域魅力	(連絡先) meet@chiikimi

事業名		里山保全と放棄水田畑の整備事業	
分野	めざす方向性	(7)「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生	
まちづくり	未来課題	62. 産業の活力を高め、地域が元気になること	
事業内容	民間の放棄水田畑、放棄山林、竹林を市や農協が地主の中に入ってボランティア組織によって復活させます。荒れた田畑には稲や野菜を作り、道路に面したところにはコスモスや、彼岸花、レンゲなどの草花を植え、観光資源とします。市民センターごとにまちおこしの特産品(藤検ブドウなど)を決めて栽培などをし、商品化し、販売、観光資源化します。また学校教育の一環として田植え、稲刈り、自然観察など子どもたちにも参加させます。作物は学校給食や、福祉施設などにも提供します。		
	役割期待	シルバーボランティア、みどりの保全団体、市(農政、まちづくりみどり推進課、市民センター、公民館)、農協、企業、学校など、あげられます。	
事業の成果	農業の担い手の高齢化や後継者不足を解消します。里山の保全に寄与します。		
実施主体	(連絡先)		

事業名		成田エクスプレスの辻堂駅からの発着化事業	
分野	めざす方向性	(7)「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生	
まちづくり	未来課題	62. 産業の活力を高め、地域が元気になること	
事業内容	現在の大船駅からの発着を湘南地域からの発着として(湘南C-Xのある)辻堂駅からの発着を一部でも実現していきます。湘南地方から世界へ出ていく、あるいは、国際化というモチベーションを是非とも高めたいと思います。		
	役割期待	市民の要望や行政の情熱が効果的です。	
事業の成果	湘南地方から世界へ出ていく、あるいは、国際化をより実現化するシンボルとなります。湘南C-Xを単なる商業モールで陳腐化させません。		
実施主体	植木貞夫	(連絡先)	0466-33-2331

事業名		湘南C-X関連(観光)事業	
分野	めざす方向性	(7)「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生	
まちづくり	未来課題	61. 観光により地域が元気になること	
事業内容	来日している外国人に対し、健康チェックサービスなどを提供する、駅名を「辻堂」から「湘南辻堂」に変更するなど、観光資源として、ランクをあげます。マスメディアを多用・活用します。		
	役割期待		
事業の成果			
実施主体	(連絡先)		

事業名 湘南C-X関連(交通)事業		
分野	めざす方向性	(7)「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生
まちづくり	未来課題	62. 産業の活力を高め、地域が元気になること
事業内容	辻堂駅周辺の商店街、歩道の整理、南口バスルートを再検討します。また、踏切を立体交差交通により改良します。安心安全な道路づくりを行います。さらに、湘南C-X内の駐車場設備の確保を行います。バスなど、混雑の解消につながります。	
	役割期待	
事業の成果		
実施主体	(連絡先)	
事業名 新産業、新規事業立上、異業種からの参入等に対する各種支援事業		
分野	めざす方向性	(7)「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生
まちづくり	未来課題	62. 産業の活力を高め、地域が元気になること
事業内容	新産業、新規事業立上、異業種からの参入等に対する各種支援活動を強化し、規制対応・支援を行います。起業時には各種規制があり、特に新産業の起業時、異業種からの参入には困難が伴うと言われています。そこで各種規制をクリアにするため専門家による支援活動を実施します。このような支援活動があることを全国的にもPRし、起業者を集め藤沢の産業を元気にします。	
	役割期待	
事業の成果		
実施主体	(連絡先)	
事業名 観光資源拡充と観光の利便性向上事業		
分野	めざす方向性	(7)「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生
まちづくり	未来課題	61. 観光により地域が元気になること
事業内容	「気づき」指摘の①観光充実②文化伝承③史跡が多く活用④外人との交流など 市民の期待実現の為には、 A)知名度は低い全国的にも評価されるべき多くの文化資産の顕彰 B)各史跡スポットを効率よく巡回できる交通手段の開発、を行う必要があります。	
	役割期待	史跡標識のリニューアルを教育委員会や青年会議所、観光課などが行います。史跡資産の顕彰と国内外へのPRを博物館準備室などが行います。観光客の利便性向上のための巡回交通手段の開発を交通事業各社が行います。江の島への渡航前に「ビジターセンター」をつくり、歴史文化を解説します。
事業の成果	市民の愛郷心向上や観光事業観が変化します。国内外の観光客の評価がアップします。	
実施主体	(連絡先)	

事業名		地域の施設を最大限に利用しよう事業	
分野	めざす方向性	(8) 公共資産の維持管理と有効活用	
子育て・教育	未来課題	69. 市民が利用する身近な施設が大切にされていること	
事業内容	稼働率の低い市民の家を保育場所に変更し、地域の人たちが自由に交流する場所を提供します。 (小(中)学校空教室の利用、その他)各施設を管理している部署が違うので、調整が必要です。お互いが支え合って生活していることを実感させます。子どもを預ける場所がなく、仕事ができない子育て中の親の支援を行います。今後急増する団塊世代の人達の退職後の生きがいの場をつくります。		
	役割期待	保育士経験のある退職者、子ども好きな高齢者、様々な知識を持った団塊の世代(高齢というにはほど遠い)人達の力を必要とします。	
事業の成果	全世代の人達が交流できること、異世代の知人が多くなり声を掛け合うあたたかいまちになっていることです。		
実施主体	(連絡先)		
事業名		公民館・市民センターへのレストラン、又は、軽飲食店の開設事業	
分野	めざす方向性	(8) 公共資産の維持管理と有効活用	
まちづくり	未来課題	69. 市民が利用する身近な施設が大切にされていること	
事業内容	①地域コミュニティの活動拠点であり、必ず来客のある市民センター等に飲食の場を設定し地域力・市民力の補強に役立てます。②障害者・高齢者などに仕事の場を提供します。③利益の一部は新設する有償ボランティアの資金に充当します。		
	役割期待	NPO法人など新事業体となります。	
事業の成果	来館、来客した人達の話に上ること、その結果、地域経営が進みます。		
実施主体	(連絡先)		
事業名		小学校低学年クラスへの有志高齢者の入学事業	
分野	めざす方向性	(8) 公共資産の維持管理と有効活用	
子育て・教育	未来課題	69. 市民が利用する身近な施設が大切にされていること	
事業内容	三世帯同居家族の激減、核家族化による地域コミュニティの希薄化が問題視されます。この現象のギャップの補完、及び、補強をします。この場合、①高齢者は「学び」だけでなく地域の子を育てる意識を持ち、②学校及び運営者は自校の環境を考慮することを、検討して頂きます。		
	役割期待	行政(教育委員会)、NPO法人、または、新事業体が考えられます。	
事業の成果	学校施設が有効に活用されます。		
実施主体	(連絡先)		

事業名	クリエイティブストリート・クリエイティブエリアの創出	
分野	めざす方向性	(9)「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出
芸術・文化	未来課題	81. 地域の記憶や文化が継承され、発展すること
事業内容	湘南C-Xから海へ抜けるストリート海浜公園通りのポケットパーク・湘南C-Xの公共用地に国際性・芸術文化の創造的起点としてサインージ掲示板を設置します。(ポケットパーク・公共用地の有効活用)世界へつながるものによる、国際性のモチベーション、ベクトルの構築が大切です。	
	役割期待	市民、企業、行政のモチベーションや情熱に期待されます。
事業の成果	国際性、創造的芸術文化の起爆剤としての起点作りに寄与します。	
実施主体	植木貞夫	(連絡先) 0466-33-2331

事業名	新総合計画に文化施設として総合ミュージアムの設置事業	
分野	めざす方向性	(9)「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出
芸術・文化	未来課題	81. 地域の記憶や文化が継承され、発展すること
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化に関心を持ってもらう内容の発表の場の提供を行います。 ・文化活動をしてる方の発表の場が市民ギャラリーでは内容が限られてしまいます。多くのジャンルの発表ができるようにします。 ・市民が身近に質の高い芸術文化に触れてもらいます。また、学校への出前指導、体験教室を通して、地域で行っている芸術、文化の発展と継承者の育成を行います。 	
	役割期待	芸術文化活動を行っている団体への働きかけを行います。
事業の成果	芸術文化の継承に寄与します。また、新しい文化を発掘することにつながります。	
実施主体	(連絡先)	

事業名	子どもたちが参加できる総合文化祭事業	
分野	めざす方向性	(9)「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出
芸術・文化	未来課題	81. 地域の記憶や文化が継承され、発展すること
事業内容	①市内の小学校・中学校・高等学校・(大学)の生徒を対象に技術を競い、賞を獲得することを目標とするコンペ部門と子どもの誰もが参加できる幅広いジャンルを考えた総合文化祭を実施します。②各学校で積極的に専門家を導入し、小さい頃より本物に触れる機会を与えます。③藤沢市の文化団体連合会の参加団体を中心とした各学校の文化活動の手伝いを行います。	
	役割期待	市内の小中学校、高校や文化団体連合会など、あげられます。
事業の成果	文化都市の形成に寄与します。	
実施主体	(連絡先)	

